

山行報告書

作成:2013年8月27日
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	船窪岳 2459m・烏帽子岳 2628m	目的[方法]	静寂の夏山を楽しむ
期間	2013年8月8日~10日	形態	小屋2泊3日
参加人数	1人+会員外1名		
8/8(木)	自宅(410)==刈谷ハイオア集合(430,435)==恵那 SA==梓川 SA==安曇野 IC==七倉 P(825,926)-0:04-登山口(930)-1:50-唐沢ノゾキ(1120,1130)-0:30-岩小舎(1200)-1:12-鼻突八丁、八合目(1312)-2:03-天狗の庭(1515)-1:45-船窪小屋(1700)		
8/9(金)	船窪小屋(600)-船窪乗越-船窪第1ピーク(740,755)-0:55-船窪岳(850,905)-2:55-不動岳(1200,1300)-1:45-南沢岳(1445,1500)-1:20-烏帽子岳分岐(1620,1630)-烏帽子岳(1650,1705)-烏帽子岳分岐(1720)-1:00-烏帽子小屋(1820)		
8/10(土)	烏帽子小屋-散策-烏帽子小屋(900)==高瀬ダム(1340,1345)==タクシー==七倉 P/温泉(1400,1530)==蕎麦美郷(1600,1640)==長野県山岳総合センター(1655,1745)==安曇野 IC==辰野 PA==刈谷ハイオア(2145,2155)解散==自宅(2210)		



- ◇豊田南 IC~安曇野 IC 往復 ¥5400(深/休割)
- ◇高瀬ダム~七倉駐車場 タクシー ¥2000
- ◇登山口情報
安曇野 IC より 50 分
無料 P 4~50 台
案内所、トイレ有
- ◇船窪小屋 50 人収容
水 ¥200/L
屋外テーブル席
屋内・外トイレ
テント場:5 張小屋より 20 分
水場:テント場より 10 分
- ◇烏帽子小屋 70 人収容
水 ¥200/L
屋内・外トイレ
屋内自炊室 テーブル席
テント場 20 張 水は小屋で
- ◇温泉:七倉山荘 ¥650

8/8(木) 晴れ

高速道を降りた下道の平日通勤渋滞はさほど。登山口無料 P(30/50 台)には総合案内所が併設され、恩師の手厚い指導に気を引締め出発。トンネル手前の橋を渡ると右側に登山口道標がある。樹林の中、陽射しはないものの高度 300m の急登に始まり七倉尾根に乗れば涼風も得られる。初めて見る蘭、ハシコありの鼻突八丁では根をつかみグイグイと登る。傾斜が緩くなると眼前に餓鬼、表・裏銀座の槍まで見渡せ、眼下の高瀬ダム湖からの高度感もあり雄大。小屋へ一報を入れ愛でる花を次々とカメラに収め青い屋根の小屋に着く。ランプ灯の温かいもてなし、水のご苦労を知る。20 時就寝。

8/9(金) 晴れ

黎明のガスは晴天ベースの雲海の中か? 地形図を広げ不動沢側の崩壊と目指す烏帽子方面をざっくりと眼で追い出発。登山道沿いのテント場と水場 10 分の案内板のある降りに乗越すと船窪山頂は第 1 ピークと第 2 ピーク 2459m がある。主に樹林歩きで恐怖感はないもの激しく崩落している縁は嫌らしく悪天時や豪雨後は避けたい。本日の行程 6 割と核心部を終え不動岳から昨日の展望に加え蓮華岳、針ノ木、立山連峰、赤牛...360° の天空パノラマは素晴らしい。コマサを横目に山座同定終われば大休止となる。直下のゴコロ石の大降り、まだまだ気の抜けない登り返しもあり結構疲れる。やっとの南沢岳に立てばこれから向う四十八池、裏銀座の山々も迫り期待以上の花縦走路にますます遅足ぎみ。先行者にさらに遅れることを小屋へ伝えてもらい鋭鋒烏帽子岳を往復する。時間の許す限り花と背景の山々にカメラを向ける。到着した小屋の自炊室から高み茜色の残光に間合い 2 度目のあわあわで乾杯する。20 時消灯に焦る。

8/10(土) 晴れ

最盛期を終えた三ツ岳方面のコマサ散策終え小屋に戻れば早い登山者が到着。下山開始すれば多くの登山者とすれ違うが中間からは静かな降りとなる。途中では食草のヒヨドリバナに飛来するアサギマダラにピントを合わせ、白い斑点のある美しい黒体もしっかり観察できた。丸太橋、吊橋、トンネルを抜け、高瀬ダムからタイミングのよいタクシーに乗車し七倉 P に着くと満車であった。七倉山荘の改装した温泉で湯る湯るし、大町の懐かしい長野県総合山岳センターに立ち寄って帰路につく。

感想: 安定した天気にも恵まれ広大な展望を楽しむ静かな山旅となった。終われば針ノ木岳から烏帽子岳も可能であったように思いますが次回はコマサ咲く頃、針ノ木岳からもう一度船窪小屋でまったりしたいものです。

参加者名

